

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

# 学校通信 ひがしやま 第59号

発行日 令和6年11月14日(木)  
発行者 別府市立東山幼稚園  
別府市立東山小学校  
別府市立東山中学校  
校(園)長 谷川 芳明

## ○園児・児童が脱穀作業を行いました。

11月13日水曜日、大野泰徳さん、田原稔弘さん、小手川さんのご協力を得て、搬入した脱穀機を使って、先日刈り取った稲の脱穀作業を行いました。

子どもたちはコンバインの仕組みに興味津々、説明された大野さんへ「コンバインの値段は？」とか。こっそり「このひとつぶでどれだけのご飯ができるの？」など聞いていました。

私からは、お米が食卓にのぼるまでの過程を学び、昔の人たちがどれだけの苦勞し、収穫量を上げるための、効率化を目指したかを簡単に伝えました。昔の農機具をみかけることは、なくなりましたが、県立歴史博物館などでみることができます。



★★

## ○農業体験の開催について（鶴見・南立石・東山ひとまもり・まちまもり協議会）

11月14日木曜日、今年も3校の小学1年生(合計147名)が参加して開催されました。ただし、予定していた芋ほり体験はイノシシ等の被害により、できませんでした。しいたけ狩りは田中信行さんのほだ場で実施できました。なお、芋については、別途調達して、東山小中学校の運動場で全児童に配布していただきました。